

# 令和7年度 市税実収見込額の概要 ①

## 市 税 収 入

対前年度  
**9,459億円** +629億円 (+7.1%)  
 (9,429億円) (+619億円) (+7.0%)

【参考】

対前年度+629億円のうち、定額減税が終了したことによる影響額は+226億円

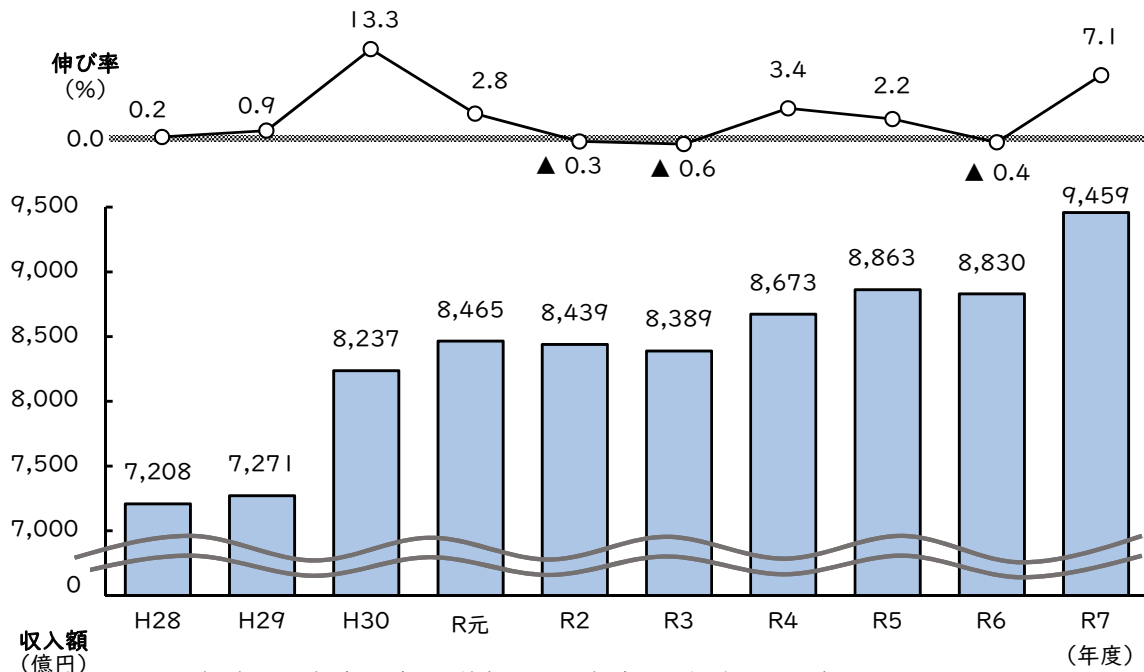
注：( )は留保分30億円を考慮した予算計上額の数値

## 市税実収見込額の概要

○ 好調な雇用情勢などにより、増収を見込む。

- 個人市民税 (R6当初比+498億円、+11.8%) …納税者数の増や給与の引き上げ等による増、定額減税の終了による増など
- 法人市民税 (R6当初比 +39億円、+7.6%) …企業収益の増による法人税割の増など
- 固定資産税 (R6当初比 +78億円、+2.6%) …土地の地価上昇の影響や家屋の新增築による増など

## 市税実収額の推移



### 【参考】令和6年度の市税決算見込額等

令和6年度市税決算見込額は、好調な企業収益を反映し、8,942億円と見込んでいます(当初実収見込額の8,830億円から112億円の増)。  
 同様に、県税交付金の6年度決算見込額は1,317億円と見込んでいます(当初実収見込額の1,196億円から120億円の増)。

(単位: 億円、%)

	令和6年度			令和7年度		
	当初実収見込額 A	決算見込額 B	差引 B-A	当初実収見込額 C	伸び率 (C-B)/B	差引 C-B
市税合計	8,830 [8,810]	8,942	112 [132]	9,459 [9,429]	5.8	517 [487]
県税交付金	1,196	1,317	120	1,410	7.1	93

※ 市税合計の [ ]は当初予算計上額

注1: 数値はR5年度までは決算額、R6・7年度は当初実収見込額。  
 注2: H30年度に県費負担教職員本市移管に伴う税源移譲が行われました。

# 令和7年度 市税実収見込額の概要 ②

## 税目別内訳

令和7年度当初実収見込額  
9,459億円

(注1) 増減はR6当初実収見込額比

(注2) R5は決算額、R6・7は各年度の当初実収見込額

